

### 静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 1班	時間	15:50~16:20
事業番号	10	担当部署	健康福祉部政策監
事業名	被災者自立生活再建支援事業費		
事業費	5,000 千円		
事業仕分け結果		県実施（現行どおり）	
区 分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		
	(7)県実施（現行どおり）		5
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 県実施（現行どおり） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被災された方には、非常にいい制度だと思う。</li> <li>・ 他都道府県や民間との協力など、視点を変えてより効果が上がる方法についても検討してほしい。</li> <li>・ 運用面について、もっと早く被災者に支給されるような工夫が必要。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国が届かないところに県がサポートする、という性格の、重い目的を持った事業である。</li> </ul>			

### 静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 2班	時間	12:05~12:35
事業番号	15	担当部署	健康福祉部衛生課
事業名	リスクコミュニケーション等推進事業費		
事業費	2,871 千円		
事業仕分け結果		県実施(要改善)	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施(民間委託)		
	(6)県実施(要改善)		5
	(7)県実施(現行どおり)		
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 県実施(要改善) &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民の信頼度の向上という目標に対して、事業の実施対象人数が少なすぎるのではないか。</li> <li>・ 意見交換会、タウンミーティング、食品安全教室等の開催回数、連携のあり方の抜本的な見直しをしてほしい。</li> <li>・ 教育についても、市町村の現場の栄養士や大学生が実施する方法を考えてみてはどうか。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の背景やすぐに効果が出るようなものではないという状況も理解できるが、やり方を一層工夫してほしい。</li> </ul>			

## 静岡県事業仕分け結果

仕分け人による多数決の結果が同数となった場合は、コーディネーターが1票を投じて結果を決定（例：2+1）

日/班名	1日目 2班	時間	13:15～14:05
事業番号	16	担当部署	健康福祉部子育て支援課
事業名	民間保育所振興事業費助成		
事業費	5,780 千円		
事業仕分け結果		不要	
区 分	(1)不要	2 + 1	
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）	2	
	(7)県実施（現行どおり）	1	
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 不要 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ このままでは効果がない。中身を精査すべき。その上で、本当に必要なものに対しては、補助率を上げてよいのではないか。</li> <li>・ （別事業で）研修主催団体にも補助して、研修受講者にも補助するのでは、二重の補助になるのではないか。補助の方法を見直してほしい。</li> </ul> <p>&lt; 県実施（要改善） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どの研修を受けるかを含め、各保育所の意向に任せきりのように感じる。保育士のレベルアップのために事業内容を全面的に見直してほしい。</li> <li>・ 県がどのような研修であれば補助を出すのかスタンスを明確にして、保育士が積極的に研修を受講できるような補助制度を検討すべき。</li> </ul> <p>&lt; 県実施（現行どおり） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題点はあるが、代替保育士の確保等、研修を受講しやすいように拡充してほしい。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士の資質向上にどの程度貢献しているか不明。</li> <li>・ 保育士のレベルアップのために、違った視点の事業が必要。</li> <li>・ 必要な研修に特化して補助する等、メリハリある制度にすべき。</li> <li>・ 県の役割・目的を明確にして中身を精査することが必要。</li> </ul>			

### 静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 2班	時間	14:05～14:30
事業番号	17	担当部署	健康福祉部薬事課
事業名	血液確保対策費		
事業費	9,181 千円		
事業仕分け結果		県実施（要改善）	
区 分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		1
	(6)県実施（要改善）		4
	(7)県実施（現行どおり）		
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 県実施（民間委託） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 血液センターやその他の民間の団体に委託したほうが効率的にできるのではないか。</li> <li>・ 推進大会の効果は、現在ではあまりないのではないか。</li> </ul> <p>&lt; 県実施（要改善） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民の善意に期待している事業なので、民間委託にはなじまないと考える。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標は達成しているが、個々の事業の必要性、効果の検証は必要。</li> <li>・ 個々の事業がどの程度献血率の向上に寄与しているのか分析し、その上で、あまり今の予算の範囲を広げず、より効率的・効果的に行うにはどうすればいいのか検討してほしい。</li> </ul>			

### 静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 2班	時間	14:30~15:05
事業番号	18	担当部署	健康福祉部こども家庭課
事業名	母子家庭等就業・自立支援センター運営費		
事業費	13,549 千円		
事業仕分け結果		県実施（要改善）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		1
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		3
	(7)県実施（現行どおり）		1
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt;市町村&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な窓口で対応できるほうがよい。</li> <li>今後問題が拡大することが予想されるのであれば、財政的なことも含め問題に直面する市町が対応を考えた方がよい。</li> </ul> <p>&lt;県実施（要改善）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスを利用する側に立った制度（利用時間、人数配分）にしてほしい。</li> <li>支援の強化等、きめ細かい施策と効率化、正しい現状把握等が必要。</li> </ul> <p>&lt;県実施（現行どおり）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当範囲が広いこともあり、きめ細やかに市町と連携をしながら、実施してほしい。また、これから父子家庭の問題も含めて大きくなる課題と考えるので、拡充という意味を含めている。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>ハローワークでの就職相談だけでなく、生活支援、生活相談も利用できるワンストップ対応になれば利用する人は増える。将来的な課題として、県としてどこまで対象を広げて取り組んでいくか、生活支援という視点で市町と連携はあるのか、検討してほしい。</li> </ul>			

静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 2班	時間	15:10~15:45
事業番号	19	担当部署	健康福祉部地域福祉課
事業名	福祉サービス第三者評価事業推進費		
事業費	3,178 千円		
事業仕分け結果		不要	
区分	(1)不要	3	
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施(民間委託)		
	(6)県実施(要改善)	2	
	(7)県実施(現行どおり)		
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 不要 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第三者評価は必要だが、この仕組みでよいのかは疑問。</li> <li>現状では評価が利用者の選択に寄与しているのか疑問であり、評価実施機関が本当に第三者に当たるかといった問題も含めて、制度設計自体を見直すべき。</li> </ul> <p>&lt; 県実施(要改善) &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>費用をかけて審査を受けるだけのメリットがあるのか明確ではない。</li> <li>制度設計に問題があるため、国に修正要求すべき。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者による評価は必要だが、この仕組みでよいのか疑問。評価機関を評価することが必要。制度設計を改善すべき。</li> <li>「利用者のサービス選択に資する」という目的とかけ離れていて抜本的見直しが必要。県独自の制度を構築すべき。</li> <li>制度に問題があり、国へ進言すべき。</li> <li>事業者にとって、評価機関に支払うコストに見合うだけのメリットが見えない。</li> </ul>			

静岡県事業仕分け結果

日 / 班名	1 日目 3 班	時間	1 5 : 5 7 ~ 1 6 : 3 0
事業番号	3 0	担当部署	健康福祉部長寿政策課
事業名	認知症総合対策推進事業費		
事業費	25,730 千円		
事業仕分け結果		県（現行どおり）	
区 分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		1
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		1
	(7)県実施（現行どおり）		3
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 国・広域 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家として面倒をみていくべきもの。それを自治体、ボランティアで支えていくのが本当のあり方ではないかと考える。</li> <li>・ 都道府県で地域格差が出ることは納得できない。</li> </ul> <p>&lt; 県実施（要改善） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わざわざ新しい事業を行わなくても現行事業の中で実施できているものもある。一律に国の事業があったからといって、すべて実施する必要はない。将来負担も考えるべき。すべて国に任せると日本全国で同じことを行い、共助で済むところも補助金を出すことになるが、各県の判断で行ってもよいという意味で、要改善とした。</li> </ul> <p>&lt; 県実施（現行どおり） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算が必要となるが、見捨てるわけにはいかない。できるだけ介護サービスを拡充して、問題点が出てくれば考えていけばよい。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉については、国が統一的な基準のもとに実施すべきという意見もある。</li> <li>・ サービス内容や費用の問題をどう解決していくのかは、県だけのレベルでは難しいところもあり、国への要望も必要ではないかと考える。</li> </ul>			

### 静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 3班	時間	16:35~17:00
事業番号	31	担当部署	健康福祉部介護保険課・介護指導課
事業名	介護支援専門員育成等事業費		
事業費	25,494 千円		
事業仕分け結果		県（現行どおり）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		1
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		1
	(6)県実施（要改善）		
	(7)県実施（現行どおり）		3
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 国・広域 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員の育成は国がシステムづくりからじっくり考え、資格試験や研修は全国レベルで実施すべき</li> </ul> <p>&lt; 県実施（民間委託） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験については、県の意向や裁量の余地が少なく、民間で実施できるのではないか。</li> <li>・研修については、団体委託が多く、直営研修が少ないが、民間委託を進めるべき。</li> </ul> <p>&lt; 県実施（現行どおり） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会に深いかわりを持つ事業でもあり、各県と競争し、静岡らしさを実現し、より良い事業にしてほしい。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験手数料や実施方法を見直し、介護支援専門員を増やす方策を実施していくべき。</li> </ul>			



### 静岡県事業仕分け結果

班名	2日目 2班	時間	10:45～11:25
事業番号	66	担当部署	健康福祉部障害者政策課
事業名	障害者スポーツ振興事業費助成		
事業費	44,500 千円		
事業仕分け結果		県実施（要改善）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		1
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		3
	(7)県実施（現行どおり）		
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt;民間&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まずは「要改善」だが、将来的には民間が行うべき。</li> <li>・ 行政 - サポーターの間だけでなく、民間との係わり合いの中でやっていただきたい。</li> <li>・ 民間がCSR（企業等に求められる社会的責任）を果たす中でサポートしやすい事業内容にしていきたい。</li> </ul> <p>&lt;県実施（要改善）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町レベルではできないため、県レベルで県が中心になって行うことが必要。</li> <li>・ 各地域に格差があるが、民間ではそこまでフォローすることは難しい。</li> <li>・ 体育協会と一体化した上で、その中で健常者と障害者のグループ別にすべき。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この事業により参加が広がっているのは評価できるが、それが皆さんの目指す水準なのか、障害者の皆さんにとってどうなのかを、組織のあり方、目標設定を含めて、総合的に検討すべきではないか。</li> <li>・ 体育協会と一体化することで、健常者との行き交いの中で相互に気付きがあり、単に運営面の効率化というだけでなく、効果の面でも意味があるのではないか。今すぐというのは、さまざまな障害や運営上の問題もあると思うので、どういう工夫ができるかを含めて検討していただきたい。</li> </ul>			

## 静岡県事業仕分け結果

仕分け人による多数決の結果が同数となった場合は、コーディネーターが1票を投じて結果を決定（例：2+1）

班名	2日目 2班	時間	11:25～12:10
事業番号	67	担当部署	健康福祉部障害福祉課
事業名	障害児者ライフサポート事業費助成		
事業費	20,000 千円		
事業仕分け結果		県実施（要改善）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）	2 + 1	
	(7)県実施（現行どおり）	2	
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 県実施（要改善） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本来は地域的なサービスであり、市町の事業であるべきと考える。</li> <li>・ ただ、やれない市町がいる中で、そこをフォローするのが県の役割。</li> <li>・ そうしたことを前提に、事業の中身をもう一度考え直したらどうか。</li> </ul> <p>&lt; 県実施（現行どおり） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県全体のバランスがバラバラにならないようにやっていただきたい。</li> <li>・ 実施していない14の市町で困っている方がいないか把握してほしい。</li> <li>・ そこをしっかりとフォローしながら、中身をより充実させてほしい。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に利用していない市町が14ある。サポートを必要としている方がサポートを受けられない状態にあるのか、そうではなく自立支援法のサービスで足りているならば、県がサポートする意義は薄い。</li> <li>・ 市町が独自の判断で上乗せをしているならば、それは市町で実施すべき事業。</li> <li>・ 県として行うべきサポートはどの範囲なのか、どこに絞り込むのか、どうすればサポートが必要な方に行き届かせることができるのか、行き届かないということならば、要改善の意見にあったように市町の事業ということになってしまうので、その点を踏まえて事業を再構築してほしい。</li> <li>・ 大事なことからしっかりやってほしい、しっかり見直してほしい。</li> </ul>			

### 静岡県事業仕分け結果

班名	2日目 2班	時間	12:10～12:40
事業番号	68	担当部署	健康福祉部疾病対策課
事業名	特定疾患治療研究事業費（県指定）		
事業費	36,000 千円		
事業仕分け結果		県実施（現行どおり）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		
	(7)県実施（現行どおり）		4
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 県実施（現行どおり） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単純に減らす必要はない。</li> <li>・ 国への移行がすぐにはできないので、県で続けていくべき。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国指定になるかならないかに関わらず、県として続けていった方がいいとの判断。</li> <li>・ 他の少数疾患との関係、支援をする範囲、他の制度との兼ね合いとの関係でどの程度をみるのかという議論も一方ではある。</li> <li>・ その中で、他の都道府県がやらなくても静岡県はやるんだという必要性を県民の皆さんに説明して、理解していただくことは重要。</li> </ul>			

### 静岡県事業仕分け結果

班名	2日目 2班	時間	13:20～14:05
事業番号	69	担当部署	健康福祉部地域医療課
事業名	助産師外来等設置事業費助成		
事業費	10,080 千円		
事業仕分け結果		県実施（要改善）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		4
	(7)県実施（現行どおり）		
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 県実施（要改善） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政策的にやってきている割には成果が上がってきていない。</li> <li>・ 事業自体は、必要とされているので進めていくべき。</li> <li>・ お金だけでなく助産師が働きやすい環境の整備も同時に進めてほしい。</li> <li>・ 補助の時限を設けるべき。</li> <li>・ 自立的な経営の中でできる努力・工夫も並行して検討すべき。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでやってきた経験を踏まえて、将来的な体制をどう作っていくか検討してほしい。</li> </ul>			

静岡県事業仕分け結果

班名	2日目 2班	時間	14:05～14:35
事業番号	70	担当部署	健康福祉部地域医療課
事業名	へき地医療施設設備整備促進費助成		
事業費	12,862 千円		
事業仕分け結果		県実施（要改善）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		3
	(7)県実施（現行どおり）		1
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 県実施（要改善） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療の質の確保という観点で、最低限整備されるべき基準を客観的に作って判断ということなら理解できるが、今の議論では分からなかった。</li> <li>機器の減価償却期間を考えた長期的な対応をしてほしい。</li> </ul> <p>&lt; 県実施（現行どおり） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人的資源については自治医科大学の支援があると聞いているが、一方、施設・設備については、市町だけではとても負担ができない。</li> <li>へき地医療については、地域格差の是正に向けて静岡県では今後拡充の方向で検討いただきたい。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>できる限り格差のない医療を実現するため、県としてどの程度の予算を確保して、計画的にこれくらいの更新を支えていきたいという説明が必要ではないか。</li> <li>申請があったものに補助を出しますというのでは、場当たりの説明のための努力がいまひとつ欠けると言わざるを得ないので、実態の把握を含めて説明をしてほしい。</li> <li>へき地医療であっても、頑張っって黒字経営でやっているところもあるのだから、そういったところを参考にしながら、持続可能な医療を目指す中で、県として支えなくてはいけないのはどこなのか、全体の中での姿を描きながら、さらに詳細なアプローチをしてほしい。</li> </ul>			

## 静岡県事業仕分け結果

仕分け人による多数決の結果が同数となった場合は、コーディネーターが1票を投じて結果を決定（例：2+1）

班名	2日目 2班	時間	14:35～15:25
事業番号	71	担当部署	健康福祉部健康増進課
事業名	たばこ対策推進事業費		
事業費	10,232 千円		
事業仕分け結果		不要	
区 分	(1)不要	2 + 1	
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）	2	
	(7)県実施（現行どおり）		
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 不要 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的に国で対応すべき事業。</li> <li>・ アンケートその他で対応すべきものではない。単に規制すれば足りるし、規制するしかない。</li> <li>・ 規制をするか否かを決めるのは都道府県では厳しい。国で実施すべき。</li> </ul> <p>&lt; 県実施（要改善） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 啓蒙は重要で、実際にたばこによる健康被害があるということを伝えるのは事業として続けるべき。</li> <li>・ まずは県庁を含む公共施設を全面禁煙化した上で、他の施設に呼びかけていくことが必要。そうでないと説得力が欠ける。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本当に全面禁煙化するなら手段としては規制で十分。県の施策は無駄ではないが、どこまで禁煙対策を実施すべきか、再度検討して県民に示してほしい。</li> <li>・ まずは、公共施設を全面禁煙とすることと、なぜ禁煙化するのかを周知するべき。</li> <li>・ 国が法規制で対応すべきことで、アンケートその他で取り組むべき問題ではない。</li> </ul>			